

最先端技術も、持続可能な社会も バルブ産業が 進化を支える

Sustainable

Society

Technology

3月21日は
バルブの日



バルブの
イメージキャラクター
ばるちゃん

©一般社団法人 日本バルブ工業会

民間企業の活躍で脚光を浴びる宇宙開発や脱炭素に向け注目を集める水素エネルギーなど、社会を大きく変えるような先端技術が用いられる様々な分野で、流体(液体・気体)を制御して安全・安心を維持するバルブ。その一方で水道などの社会インフラをはじめ、石油工業、ガス、造船、半導体製造など効率的な制御で省エネや環境配慮にも貢献している。日本バルブ工業会の堀田康之会長にバルブ業界の展望を聞いた。



日本バルブ工業会 会長 堀田 康之氏

サ
ス
テ
ナ
ブ
ル
な
社
会
へ
バ
ル
ブ
の
技
術
が
貢
献

温暖化ガスの排出量を実質的にゼロとする「カーボンニュートラル」に向けた日本企業の動きが広がっています。特に次世代のクリーン資源として注目を集める水素はエネルギー市場の構図を大きく変化させると見られています。バルブは水素社会における様々な制御を担うべく、業界から革新的な技術が次々と生み出され、日々進化を続けています。そうした先端技術は宇宙開発などの科学技術の進化も支えています。

一方、新型コロナウイルス感染症のまん延で社会が不安に陥る中、センサーに手をかざすだけで吐水や止水ができる非接触水栓が病院や福祉施設、オフィスビルなど不特定多数の人が利用する建物で活躍しました。多くは見えない箇所でも様々な流れの制御を行っているバルブが社会課題に貢献していることを生活者の皆さんにも印象付けたと思います。

いま、社会はSDGs(持続可能な開発目標)推進を掲げ、様々なシステムにおいて無駄の少ない高効率なインフラを求めています。そこにはバルブの高度な機能が活かされる場面が増えてくるはずで、社会がサステナブルを求めるほど、制御の技術が必要

とされるからです。バルブ産業自体も環境に配慮したモノづくりを実践していく必要があります。当工業会では2016年より、環境負荷の少ない製品の需要喚起・供給促進を目的とした「環境配慮バルブ登録制度」を実施し、現在20製品が登録されています。また、会員企業の活動状況を幅広く公開するため「環境活動報告」を毎年刊行しています。

現在、創立70周年を迎える2023年度までの中期活動計画「V70」を実践しています。その柱は「次世代へつなげる新しい働き方への転換」「未来の社会に貢献できる先進的な技術と商品づくり」「社会全

体の脅威・リスクに対応できるサプライチェーンとサステナビリティの強化」「バルブ産業の認知度向上」の4つです。デジタルトランスフォーメーションなどを取り入れた次世代につなぐ新しい働き方を推進し、デジタルネイティブな若い人々が活躍できる風土を業界内に醸成させ、女性の活躍を推進する「バルブ女史ネットワーク」などが企業間の連携を促すことで、会員企業全社が進化していく体制づくりを進めていきます。

当工業会178社が様々な連携を図り、「制御」の技術で社会の変化を支えていきたいと考えています。



創業120周年、脱炭素社会実現に向けて

オーケーエムは2022年1月に創業120周年を迎えました。これらひとえに、従業員や取引先、株主さまなどすべてのステークホルダーの皆さまの多大なるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後、流体制御技術をコアに、強みであるカスタマイズ対応力、長年蓄積してきたノウハウを活用し、脱炭素社会の実現に向けた製品開発を進めてまいります。引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社オーケーエム 〒520-2362 滋賀県野洲市三宅446-1
TEL:077-518-1260(代表) <https://www.okm-net.jp/>



S A N E I

TBC TABUCHI 株式会社 タブチ

NDV 日本ダイヤバルブ株式会社

過去から未来へ
JMA 一般社団法人日本バルブ工業会

V FUJIKIN CARB 株式会社 フジキン

株式会社 大和バルブ

100 Anniversary

次の100年に向けて、
夢を、心を、技術をつなぐ企業へ

TVE Challenge for the NEXT

TVEは、2022年3月10日に
創業100周年を迎えました。

TVE 株式会社 TVE
<https://www.toavalve.co.jp/>